

広

きたうら

報



〔PHOTO〕

うららかな陽気の中、4月6日に村内の各小中学校で、入学式が行われました。

小学生139人、中学生132人が入学式を迎えました。写真は要小学校の入学式の様子です。みなさん先生のお話を真剣に聞き入っていました。

- ☐ 平成5年度予算 P2・3
- ☐ 送電線工事始まる P4
- ☐ 機構改革・庁内人事異動 P5
- ☐ ドイツ研修報告③ P6・7
- ☐ むらの話題・スポーツ P8
- ☐ さわやか健康 P9
- ☐ いきいきさわやか奥さん P10
- ☐ 北浦の昔話・文芸きたうら P11
- ☐ おしらせ P12

4月16日(金)発行

予算

村づくりの基本となる平成5年度の当初予算が、三月に行われた第一回村議会定例会で審議され可決されました。今年の予算総額は七〇億二三五八万円で、対前年比〇・九％の減額ですが、昨年に引き続きの大型予算であります。

事業的には、ふれあいの郷構想に基づく事業がおおむね完成を迎えます。また、かねてから地域振興策としての複合団地構想も、基本計画樹立等本格稼働を迎えます。限られた予算の中で、村民の皆さんのためにより効率的に使わせて頂きます。

一般会計

総額は五二億二四〇〇万円
で、昨年比二・八％の減ですが、一昨年予算と比較すると五〇％増と昨年に引き続き大型予算です。これはふれあいの郷構想による事業費が大きく含まれているためです。

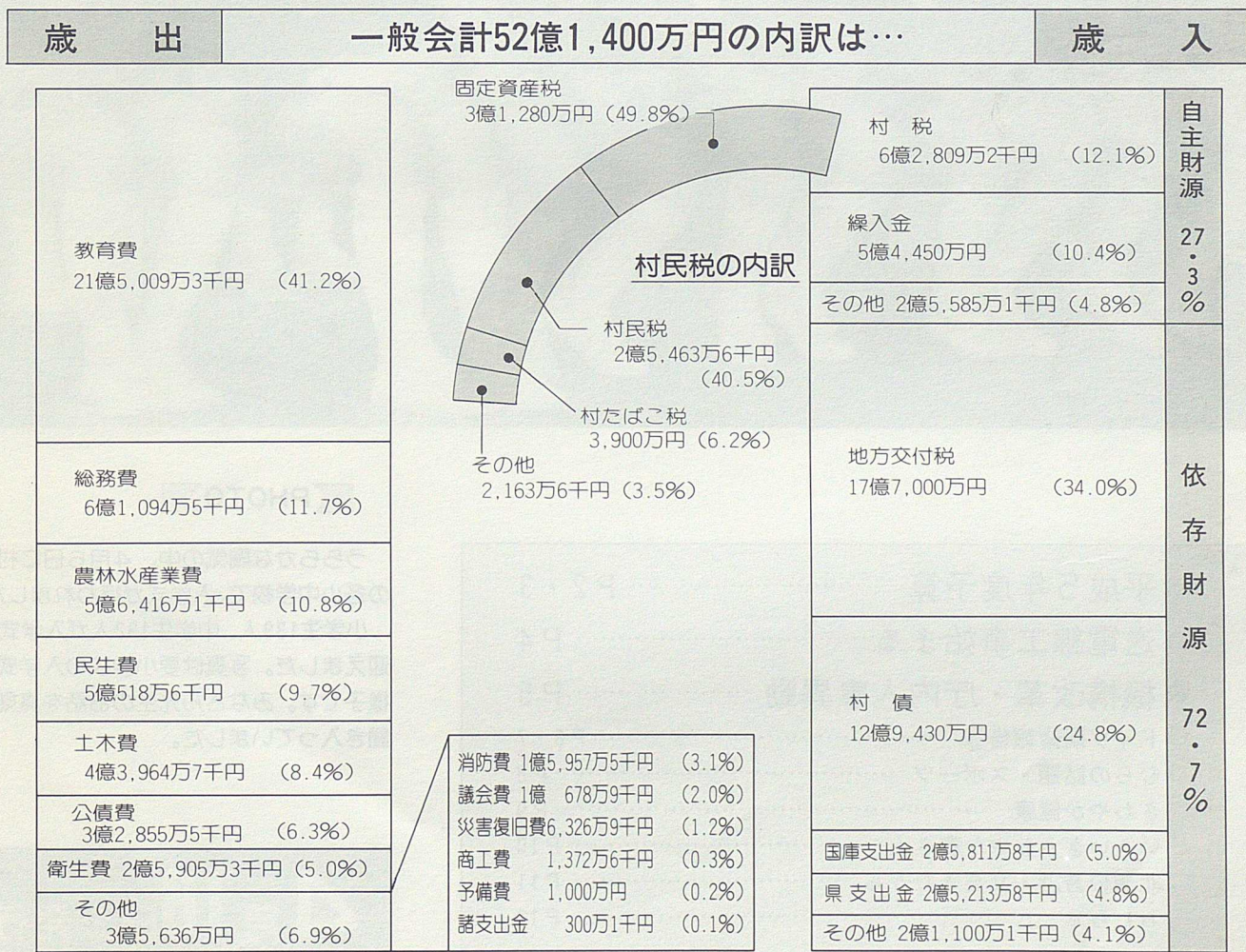
歳入は

村税は七・二％、地方交付税は一四・二％の伸びをしめしています。村債は一三・一％の減ではありますが一億九三四〇万円計上いたしました。

歳出は

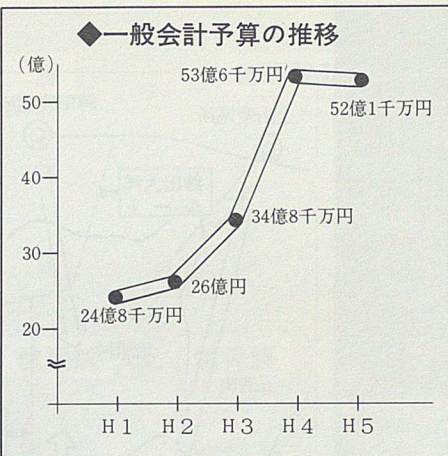
教育費が一五・七％約四

魅力ある村づくりのために
みなさんのお金大切に使います



今年度の主な事業

一般会計 (単位: 千円)	
事業名	概算事業費
〔開 発〕	
・複合団地構想の推進	39,615
・下水道基本計画の策定	13,272
〔ふれあいの郷関連〕	
・文化ホールの建設	896,437
・体育館建設等	552,568
・新築公民館整備・運営	83,263
〔土 木〕	
・村道 106号線の改良	120,240
・道路改良事業	33,420
・道路改良調査	35,300
・道路舗装	100,000
・道路維持補修	29,000
・宝来橋整備	20,100
・災害復旧事業	49,949
〔農 業〕	
・農道整備	115,935
・団体営農道改良事業	50,590
・水田営農活性化対策事業	42,786
・農村総合整備モデル事業	102,940
・農業廃棄物処理施設維持管理	2,220
・農業振興センター運営	13,362
・自立農業確率緊急対策事業	32,512
〔商 工〕	
・北浦フェスティバル開催	8,348
〔衛 生〕	
・母子センターの補修	2,730
〔環 境〕	
・廃棄物処理事業	56,779
・合併浄化槽の普及	20,595
〔消防交通〕	
・消防設備整備	22,638
・交通安全設備整備	1,681
〔教 育〕	
・三和小学校増築	83,500
・親子ふれあい自然教室	1,652
〔総 務〕	
・役場電話交換機増設工事	10,000



億円の減になりましたが、民生費は七二・五％約二億一千万円の増となりました。これは老人福祉法などの法改正による老人ホーム入所等入所措置費計上や、地方交付税措置による地域福祉基金積立を見込んだことによるものです。

主な事業は

まず、一番大きなものがふれあいの郷構想による事業で、文化ホール建設二次事業費約九億円・体育館建設二次事業費約五億五千万円です。教育関係では三和小学校の増築費として八三五〇万円、社会教育関係では公民館等の付帯設備費八三二六万三千円、土木関係では村道一〇六号線（行戸線）工事費一億二〇二四万円、農道整備三路線で工事費一億一五九三万五千円、農業関係では農村総合モデル事業による農道舗装等の工事費一億二九四万円などが主な事業です。詳しくは左のとおりです。

総額 70億2,358万円

各会計別内訳

区 分		成平5年度	平成4年度	増 減 額	増減率
一 般 会 計		52億1,400万円	53億6,600万円	△1億5,200万円	△ 2.8%
特 別 会 計	国民健康保険	10億5,667万円	9億4,170万円	1億1,497万円	12.2%
	老人福祉センター	8,771万円	8,462万円	309万円	3.7%
	簡 易 水 道	1億1,340万円	1億2,610万円	△ 1,270万円	△10.1%
	老 人 保 健	5億5,180万円	5億6,550万円	△ 1,370万円	△ 2.4%
合 計		70億2,358万円	70億8,392万円	△ 6,034万円	△ 0.9%

特別会計

国民健康保険
本年度一〇億五六七万円で、昨年に比較し一億一四九七万円、一二・二％の増になりました。これは医療費の伸びの推計によるものです。歳入では、国民健康保険税が四億三八〇〇万円で全体の四一・五％を占めています。その他は国庫支出金、繰入金、療養給付費交付金等で賄っています。歳出では、保険給付費と老人保健拠出金で全体の九割以上を占めています。

老人福祉センター

昨年比三・七％増の八七七一円です。歳入では、使用料が一〇六二万円、食事や売店売上などの雑入が三八一八万円となっております。歳入が収入全体の五五・六％です。その他はおもに一般会計からの繰入金で賄っています。

簡易水道

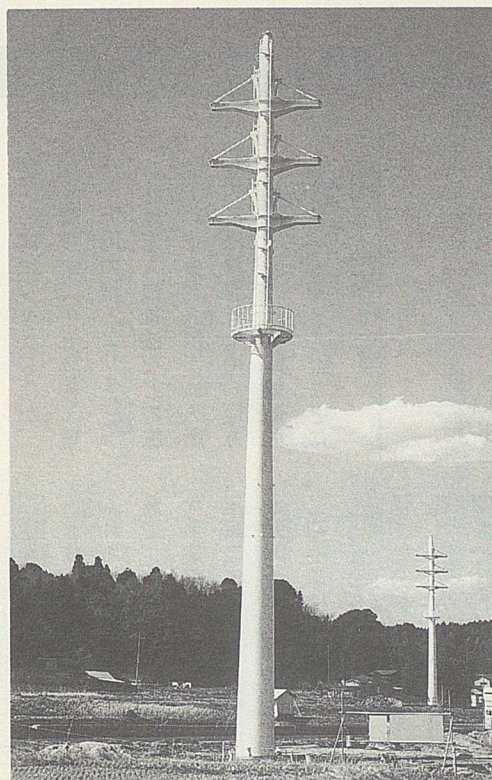
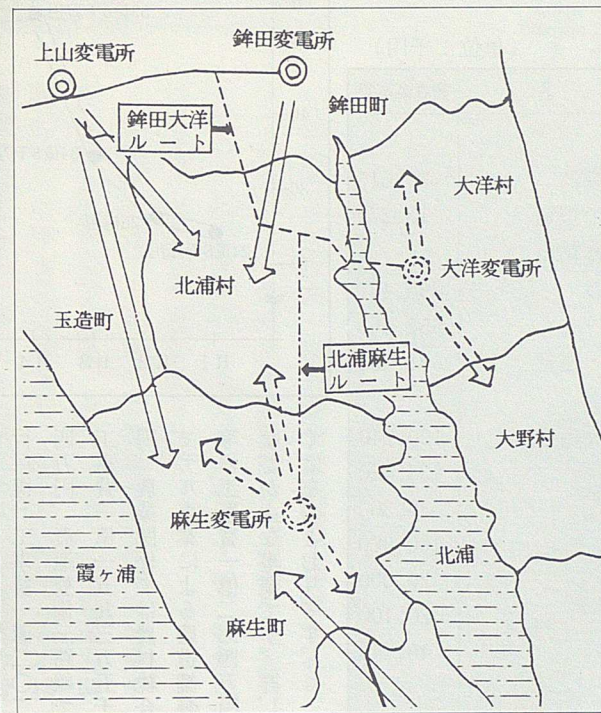
昨年までの諸工事が完了したため、昨年比一二七〇万円の減となり、一億一三四〇万円です。

老人保健

七十歳以上の老人の医療費と四十歳以上の保健予防事業をおこなうもので、今年は昨年と比較すると二・四％減の五億五一八〇万円です。

巨大な白い鉄塔

送電線工事始まる



北浦村への電力供給は

北浦村、麻生町の地域は、鉾田町にある鉾田変電所、玉造町にある上山変電所および潮来町にある潮来変電所から六千ボルト高圧線（配電線）で電気を供給しています。近年の開発・発展に伴い、電力供給は、現在ほぼ供給能力に達している状態です。

このままだと供給量が追いつかない

将来、行方縦貫道の整備、東関東自動車道の延伸計画や北浦大橋の建設、工業団地等の新設計画等があり、今後ますます電気の使用量が大きく伸びることが予想されます。東京電力では、これに対応

景観をそこねない配慮

従来の鉄塔はアンクル式ですが北浦の湖岸沿いの景観をそこねないために、湖岸地区に限り鋼管単柱にしました。白い一本の柱で従来の物よりスマートです。高さ約30mから40mです。北浦横断箇所の塔は高さ70mあります。

するため大洋村と麻生町に変電所を新設し、安定した電気の供給を図ります。

鉾田町と大洋村ルート

鉾田変電所から北浦村を通って北浦の湖を横断して大洋変電所（新設）までを結ぶルートです。その間約十一キロで、鉄塔を三十七基建てます。電圧は六万六千ボルトです。

今年の夏の消費電力のピークに間に合わせる予定で工事をすすめていましたが、完成は平成六年三月になります。

北浦村と麻生町ルート

麻生町に変電所を新設し、鉾田大洋間の送電線につなぐルートです。その間約十一kmで鉄塔が三十八基建てます。電圧は鉾田大洋間ルートと同じ六万六千ボルトです。着工は平成六年四月の予定で完成は平成七年三月の見込みです。

送電線の線下でも建物が増えてくる

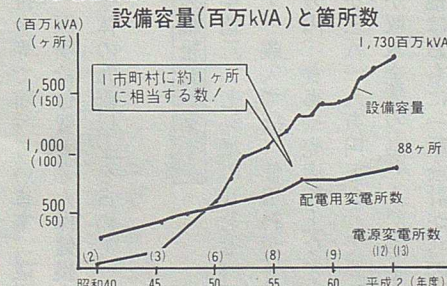
送電線の線下地でも、土地の有効利用を図る観点から、電線から三・六m離していただければ建物も建てられます。もちろん田畑の耕作等にも差し支えありません。

電気をお届けする……大切なつとめ、送電線

送電線はいわば、電気をお届けする“電気”の道。発電所と変電所、あるいは変電所どうしの間を結んで、電気を送る重要な役目をしています。

- 県内には、福島原子力発電所・鹿島火力発電所からの50万V・27万5千Vの送電線が走り、首都圏への大動脈となっています。

変電設備



電圧を用途にあわせてコントロールする変電所

電気を効率よく送るためには、電圧を上げて送電線に流れる電流量（電流）を少なくしたほうが損失が少なく、電線も細いものです。このため、発電所でつくられた電気は電圧を上げて送られ、使うときに電圧を下げており、これを行うのが変電所です。

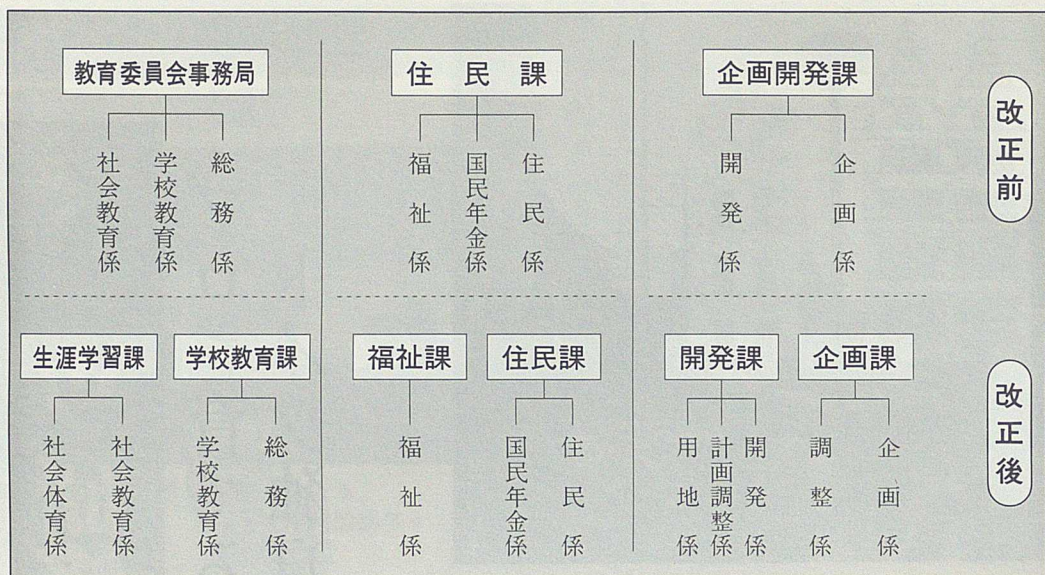
機構改革

複合団地構想推進スタッフ強化

福祉課・生涯学習課等設置

改正前

改正後



市内の機構改革が行われ、それに伴い四月一日付けで職員の仕事異動が行われました。企画開発課は、企画課と開発課に分かれ、複合団地の推進体制を整備しました。また、開発課の課長には県職員を派遣していただきました。住民課は、福祉係が独立し福祉課ができました。これは、福祉八法の改正により県からの委任事務が増えたことなどためです。社会福祉協議会の事務局が五月より津澄第一公民館に移転になり、福祉課長が社会福祉協議会の事務局長を兼務します。教育委員会事務局は学校教育課と生涯学習課に分かれ、派遣社会教育指導主事を採り入れるなど、生涯学習の強化が図られました。なお、学校教育課長は教育次長が、生涯学習課長は公民館長がそれぞれ兼務します。

庁内人事異動

■退職者（三月三十一日付）
（ ）は旧所属課・局
宮内 省三（保健衛生課長）
高柳 なか（老人福祉センター調理士）
原田 保男（学校給食センター技師）
有馬 正子（小貫小学校用務員）

■新採（四月一日付）

稲田 進一 北浦中央公民館
横瀬 克彦 税務課
古渡 秀和 産業課
村上 せい子 老人福祉センター
馬場 典子 老人福祉センター
馬場 孝子 学校給食センター
平野 紀美子 北浦中学校用務員

■異動

■村長部局

○開発課 課長 栗田則夫（茨城県庁）
課長補佐兼開発係長 縣博久（企画開発課）
計画調整係長 額賀忠和（企画開発課）
用地係長 鈴木賢一（企画開発課）
近藤芳子（出納室）
野村浩一（産業課）
久保力（住民課）
河野一郎（議会事務局）
柏原久男（税務課）

○企画課 課長 岡里年貢（企画開発課）
調整課長 高柳浩（企画開発課）
企画係長 辺田洋一郎（企画開発課）
根本光江（企画開発課）
森坂政行（企画開発課）
住民課 課長 椎名功（産業課）
国民年金係長 齋藤スミ子（住民課）
住民係長 河野稔（出納室）

○福祉課 課長 本沢征四郎（住民課）
福祉係長 菅谷はる子（住民課）
松下利子（保健衛生課）
男庭常一（住民課）
六笠孝一（住民課）
額賀秀雄（住民課）
○保健衛生課 課長 齋藤勝利（学校給食センター）
衛生係長 真家きみ江（建設課）
齋藤恵子（住民課）
○産業課 課長 五十野芳男（老人福祉センター）

センター

○出納室 出納係長 代々城雅子（総務課）
森田幸雄（津澄第一公民館）

○老人福祉センター 所長 内田義一（住民課）
高柳とさ子（学校給食センター）

■農業委員会事務局

事務局長 石間操（農業委員会）
農地係長 平間栄次（保健衛生課）

■議会事務局

議長 鈴木恵子（住民課）

○学校教育課 次長兼学校教育課長 齋藤俊雄（教育委員会）
学校教育係長 原田かつ子（教育委員会）
栗又洋子（教育委員会）
大和田昭吉（教育委員会）
○生涯学習課 生涯学習課長兼公民館長 石橋徹男（津澄第一公民館）
社会教育係長 人見偉策（教育委員会）
社会体育係長 松信昌栄（教育委員会）
栗山祐一（教育委員会）
阿須間祐次（教育委員会）
派遣社教指導員 石井秀実（麻生中学校）
社会教育指導員 小沼忠夫（教育委員会）
社会教育指導員 石崎昭江（教育委員会）
社会教育指導員 石崎昭江（教育委員会）
北浦中央公民館 公民館係長 山本耕造（津澄第一公民館）
一村幸江（津澄第一公民館）
額賀てる（津澄第一公民館）

○学校給食センター 所長 原田陽雄（農業委員会）
河野薫（老人福祉センター）
河野和子（老人福祉センター）
○学校用務員 小貫小学校 堀加代子（三和小学校）
三和小学校 小沼厚子（武田小学校）
武田小学校 新由美子（北浦中学校）

ドイツ研修報告

③

プロを育てる

ドイツ独自の教育制度

下河辺 勝子

複雑な教育制度

ドイツの教育制度は、とても複雑なもので、ごく大まかに全体の様子をお話してから、小学校の様子をお話したいと思います。

まず、六才で基礎学校（グルントシュール）に入学し、四年間学習します。その後の二年間は、指針段階というところで、ギムナジウム、実科学校（レアルシュール）、基幹学校（ハウプトシュール）、又は総合学校（ゲザムトシュール）に分かれて学びますが、流動的な時期で第六学年で最終決定をします。以前は、第四学年の段階で、進路決定を行いました。二年の幅を持たせるようになったと言うことです。昔は、生徒の成績を基に、学校で進路を決定しましたが、現在ではこの二年間に親と子が話し合って決め、学校は資料となる成績などに関する書類を書



くだけと言うことです。義務教育は、日本と同様に九年間（旧東ドイツは十年）ですが、第六学年を修了した段階で、大学進学を希望する生徒（全体の約二十五％）はギムナジウムへ行きます。その他の生徒は、日本の中学校にあたる実科学校、基幹学校、又は中学と高校を合わせたような総合学校へ行きます。実科学校は基幹学校に比べて幾分理論的・学問的色彩が濃く、ギムナジウムが最も程度が高いとされています。総合学校は、実科学校と基幹学校とギムナジウムを合わせたような学校で、単科大学や総合大学への道も開かれています。現在約七十％の生徒が、進学（日本という高校）を希望しているので、総合学校の設置が強く望まれています。この傾向は、ドイツ全体のものですが、その一方で、ギムナジウムの存在価値を脅かすとして、根強い反対のあることも事実であり、ドイツの学校制度そのものが転換期を迎えているということです。

マイスターを夢見て

高校に当たる学校は、すべてなんらかの形で職業に関係する学校です。義務教育を終えた生徒の大半は就職し、それぞれの工場、企業、商店などで、企業内研修を受けながら、三年間週に一・二時間かならず時間制の職業高校に通うドイツ独特の「二元制度」が義務づけられています。この費用は、企業で出すことにな

っています。ですから、義務教育を終えると全員が、なんらかの形でその職種の理論と技能を学びます。そして、いつの日にか、憧れの「マイスター」になることを夢見て頑張るのです。

大学に卒業制はない

ギムナジウムへ行った生徒は、大学を目指すわけですが、もちろん、ドイツには予備校も塾も存在しませんので、自分でしっかり勉強します。とはいえ、家庭教師はいまです。都市部には予備校に似たものも一部にはあるそうですが……。大学はほとんど国立で、入試はありません。授業料も国で出してくれますが、大

ドイツ研修報告



▲ドイツの小学生に折紙を教える
下河辺勝子さん

学校は知識を伝達する場所

このように、日本とドイツは、まるで反対の方向で教育を行っているように感じました。最終的には、人は皆職業についていくわけですが、今の日本では、職業よりも、訳の分からない偏差値と言うお化けに踊らされ、本人がなにを学びど

んな職業につきたいかに関わらず、とにかく入れる学校へ入って、それからどうするか考えようという風潮になってしまっていました。それで学校は出たけれど職業人として通用しない人とか、フリーアルバイターなどになって定職に着かない人が出現してきたのです。日本の社会構造の進化の中で、どの分野でも必要なとき必要なだけ使うことの出来る流動的な労働力が望まれてきたために生じたことなのか、日本人がより自分らしい生き方を求めた結果なのか私には分かりません。けれど納得のいく仕事をするという事が人間の生きがいの一つになることは間違いないと思うのです。ですからドイツほどではないにしても、進路とか、職業に対する教育が義務教育の中でもっと行われても良いのではないかと思います。ドイツでは、学校の役割は、知識を伝達する場所との考え方がいきたつています。日本の学校は、家庭生活、社会生活の中で教えられるべきではないことまですべてを背負い込んでしまい身動きできないように感じられます。子供達にとって、父母にとって、教師にとって、社会にとってよりよい学校の在り方を真剣に考え、北浦で育って良かったと思えるような教育の在り方をみんなで模索していく必要があるのではないのでしょうか。この様な有意義な研修の機会を与えていただけたことと、私事になりますが、家族の理解と協力に深く感謝致します。

カナダの中学生 リアン・ヒーバート

日本の学校は文化的行事が多いので驚いた

私は、北浦中学校で英語の指導助手をしているカナダ人のリアン・ヒーバートです。北浦に来て二年目ですが、日本の生活はとても楽しいです。カナダの中学生の話をします。

初めに、中学校の生活を比べてみます。カナダでは、公立中の生徒達は制服を着ません。学校は掃除する必要もありません。学校は管理人の人が掃除をします。また、小学校の時から第二外国語として

フランス語を学びます。高校生になると選択で日本語とかドイツ語を学びます。

教育課程の一番大きな違いは、日本では学校で道徳を教えますが、カナダでは両親によって、またはその人の宗教の教会で教えられる

です。また、日本の学校は文化祭、写生会、お花見会、奉仕体験学習、運動会など文化的行事の多さに驚かされました。カナダでは、このような行事はありません。クラブも陸上が一つあるだけです。もし生徒が将棋とか料理を習いたい時は、学校ではなく地域の公民館か、両親から習います。日本の学生は、カナダより学校で過ごす時間が多いいにもかかわらず、文化的行事に参加するために沢山の時間を必要とします。行事のために正規の授業をよけることが出来ないのです。結果的にカナダと日本の生徒の学習時間はほぼ同じです。

二月六日に行われた母親のためのセミナーでリアンさんが発表された中から抜粋したものです。



▲敬老花見のつどい（北浦中学校）



さわやか健康

健康に乾杯できるしあわせ家族



AG

各種検診・予防接種スケジュール

事業名	日時	(受付時間)	場所	対象
一般健康相談	4月23日	PM1:30~2:30	母子センター	一般
母子保健教室	5月11日	PM1:00~1:30	"	妊婦
	25日	AM9:00~9:30	"	"
乳児健診	13日	PM1:00~1:30	"	乳幼児
育児相談	17日	PM1:30~2:30	"	乳幼児
2歳児歯科検診	18日	PM1:00~1:30	"	2歳児
ツ反	19日	PM1:30~2:30	要・津澄小	小1年
判定・BCG	21日	PM1:30~2:30	"	"
	24日	PM1:30~2:30	北浦中・三	中1年
	26日	PM1:30~2:30	育中	"
	25日	PM1:30~2:30	武田・小貫	小1年
	27日	PM1:30~2:30	三和	小

4月21日から5月12日まで成人病検診を各地区の公民館等で行います。日程は保健衛生課からのチラシをご覧ください。

自分で守ろう 自分の健康

人生80年時代。長寿の日本人とはいえ、本人に油断があると病気に襲われます。現代人にとって最大の敵は成人病。成人病は別名“習慣病”。そこで必要になってくるのが健康の自己管理です。自己管理のポイントは、生活習慣（ライフスタイル）を見直し、改善することといえます。

健康づくり感謝状

健康いばらき県民大会

第十四回健康いばらき県民大会が二月二十三日に水戸市県民文化センターで開催されました。県民各自が「自分の健康は自分で守る」という自覚と認識をもつこと、健康で明るい地域づくりを推進することを目的に開催されました。その中で北浦村からも健康づくり貢献した四人に感謝状が贈られました。

●県知事感謝状

・宮内省三さん（多年にわたり衛生行政に携わり公衆衛生の向上に貢献した）

・高野敬子さん（多年にわたり北浦村嘱託医として地域住民の健康管理と健康づくりに尽力した）

●県衛生部長感謝状

・河野俊雄さん（多年にわたり献血事業に協力して貢献した）

・店曲みねさん（食生活改善推進員のリーダーとして健康づくりに貢献した）

皆さん、年に一回は健診を受けていますか？

健診は健康管理の第一歩です。自分では健康だと思っても意外な結果が出て驚くことがあります。例えば、貧血がある、コレステロール値が高い、心電図に異常がある等、自覚症状が



全くないのに…

そう。成人病の場合、自覚症状がないままに進行していくのが特徴なので、無症状のうちから健診を受けることが大切です。健診の結果から自分の体を知り、生活を振り返り、軌道修正して行きましょう。

北浦村では4月21日～12日間結核・成人病健診を行います。今年から、若い人（40歳未満）も成人病健診の該当になります。家族揃ってお出かけ下さい。

ヘルシーフッキング

小松菜とアサリの

からしマヨネーズあえ

【鉄分たっぷりの副菜】和風のからしあえとはひと味違うサラダ風のあえ物。洋風の献立にも合います。

【作り方】①小松菜は熱湯でゆでて水けを絞り、3cmの長さに切って醤油をふりかけ水けを絞る。

材 料	1人分
小 松 菜	50g
し ょ う ゆ	小さじ1/2
アサリ(むき身)	10g
酒	小さじ1/2
マヨネーズ	大さじ1
粒マスタード	少量

②アサリは塩水で洗ってなべにいれ、酒をふりかけて強火でさっといり、身がふくらんだらおろしてそのまま冷やす。

③マヨネーズにアサリのゆで汁を加えてのばし、マスタードを加えてすりのばし、小松菜とアサリをあえる。

(エネルギー) 126 Kcal (たんぱく質) 3.3g (鉄分) 3.0mg

むらの話題・スポーツ

身近な出来事や話題をお寄せください



ボランティアグループが 給食サービス

ボランティアグループ「さわやか」による一人暮らしのお年寄りを対象にした給食サービスの会食が3月9日に行われました。

この日参加してくれたお年寄りは10名でした。おいしい料理とグループによる踊りや歌などで、大変盛り上がりしました。また、ボケ防止として指先の運動により箸による豆つまみに挑戦しました。(写真) 4時間あまりの企画でしたが、参加された皆さんは、「次の会食を楽しみにしているよ」と別れを惜しんでいました。



農業後継者 結婚激励会を開催

農業後継者として結婚された方々を激励する会が3月31日に老人福祉センターで行われました。これは晴れて結婚された方を祝福するとともに、仲人さんのご苦労をねぎらう目的で行われたもので、今回で13回目になります。平成4年度は14組が結婚されました。仲人された方々や農業後継者あつせん協議会の方々などが出席され楽しい激励会になりました。



三人で頑張りました！

3月23日に村内の各小学校で卒業式が行われました。今年の卒業生は132名です。三和小学校の卒業生は3名でした。少ない人数でしたが、3人で力を合わせて充実した学校生活を送ることができました。楽しい思い出でも沢山できました。写真は左から成田真由美さん、河野真由子さん、宮増太一くんです。



タ 市

商工会の地域産業活性化振興支援事業推進委員会が主催でタ市が3月20日になめがた農協北浦営農センターで開かれました。繁昌をメジャーにする会・北浦地域食品研究会も協賛しています。今回で3回目になりますが、これからも続けていきたいということでした。野菜の即売や野菜うどん、地酒大繁昌など北浦村の特産品が勢ぞろい。是非今度みなさんも来て下さい。



(百回表彰の
河野俊雄さん)

日本赤十字社から有功賞

医学が進歩しても作りだせない血液。皆さんの暖かい善意により、病気で苦しんでいる多くの方を救うことができます。日本赤十字社から、献血へご協力下さった方々の功績に対して有功賞が送られました。

100回表彰 河野 俊雄(三和)

50回〃 野村 喜義(小幡)

〃 加納 信治(小幡)

30回〃 梶ヶ谷保夫(長野江)

〃 〃 細内 好一(次木)

〃 〃 平山 義久(吉川)

〃 〃 溝口 貞雄(山田)

〃 〃 河野 三郎(山田)

〃 〃 大石 信(成田)



エクセル 若さの勝利

3月14日に第16回村内混合バレーボール大会が行われました。参加チームは9チームで2つのブロックに分けて予選が行われました。要体育館が会場になった予選ブロックはどの試合も接戦でした。結果は、若さにものをいわせたエクセルチームが優勝しました。準優勝はのぞみ園、第3位はブルーベルと青空クラブでした。

各種スポーツ 大会結果

村内ミニバス大会 (3/7)

優勝 武田小学校

準優勝 三和小学校

村内柔道大会(3/12)

優勝 倉川 一輝

準優勝 内田 圭一

村内剣道大会(3/20)

小学生低学年の部

優勝 岡部 幸子

準優勝 鈴木 洵

第3位 関 徹也

第3位 中山智恵美

小学生高学年男子の部

優勝 谷田 仁

準優勝 岡部 直樹

第3位 羽生 成仁

第3位 金子 健一

小学生高学年女子の部

優勝 成井 早苗

準優勝 追田 望美

第3位 横田 恵子

第3位 飯田 美緒

村民ゴルフ大会(3/26) 男子の部

優勝 横瀬 惣一

準優勝 高柳 克郎

第3位 宮内 守

女子の部

優勝 横田 節子



高野恭子さん (山田)

子供が安心して遊べる場がほしい

いきいき さわやか 奥さん

高野恭子さん(二十九歳)は新潟県東頸城郡安塚町の出身で、昭和六十年に俊明さんと結婚し、山田のソバ屋(松月)に嫁いできました。

「ご主人と知り合ったきっかけは？」

「東京で看護婦をしているときに現在の義父が入院してきて、その看護に俊明さんがきていて知り合いました。」

北浦村の第一印象は？

「緑が多い、土の香りが心地よい」

東京にあって上京していましたが、ごみごみした東京がいやになり、田舎が恋しくなっていたので、北浦村に来るのに抵抗はありませんでした。

現在の北浦村はどうですか？

「北浦村は子供が育つのに、とてもよい環境だと思います。しかし、子供

が安心して遊べる場が少ないと思います。」

「商売と育児と大変だと思いますが？」

「最初は商売の方も全然わからなくて育児も思うようにいきませんでした。でも今では仕事も育児もとても楽しいです。」

これからやってみたいことは？

「あまり無理しないで、今は家族が明るく楽しくやっていければ良いとおもいます。村の活性化も基になるのは家庭だと思います。余裕が出たら、看護婦の資格を活かして在宅看護やボランティアなどをしていきたいと思っています。」

むらづくりは人づくり

元気っ子バンザイ



繁昌 石間大地くん(3歳)
ぼくはもう自転車に乗れるんだよ
おおきくなったら消防士になるんだ

A 4 判発行記念 広報クイズ

抽選で5名に
テレホンカード
が当たる

問題1 新年度予算を掲載してありますが、一般会計の総額はいくらだったでしょうか？

- ① 70億5000万円 ② 52億1400万円
③ 10億5667万円

問題2 北浦湖岸に建った一番高い送電線の鉄塔の高さはどのくらい？

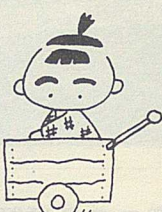
- ① 70m ② 30m ③ 10m

問題3 3月14日の混合バレー大会で優勝したのはどのチーム？

- ① のぞみ園 ② アクセル ③ エクセル
応募方法 ハガキに問題の答えと住所・氏名・年齢を明記のうえ役場企画課広報係までお寄せください。〆切5月7日(金)

北浦に伝わる昔話

勇入り



山田に「しゅうと入り」という小字があります。現在では普通の所で、他と変わった様子もない場所だが昔の人里離れた山の奥の谷合いで、谷の下の方は荒地で北浦湖畔までも続いており、道は全く非常に淋しいところであったといえます。昔は六十才にもなると自分の働きでは食えなくなり子供等にも養う余力がなく六十才になると人は捨てられたといわれ、今でも老人の口から、

「昔なら捨てられた年だから。」という言葉を聞くことがあります。

一 ある日老母を背負って捨てて来た息子がしゅうと入りに来た。ついでに老母を背から下しておいて帰ろうとしたら、老母は息子に申しました。

「山は深く遠いから帰れなくなると困るだろうと思って

背中から手を延ばして所々木の枝を折りさげて目印をつ

くって来たからよくみながら迷わず帰れよ。」

息子は今捨てられるのを悔みもせず道に迷わぬ心配までしてくれる母を捨てて帰れな

「何とかが一緒に暮せら

「だろ。」と母を背負って家に

帰りました。

二 またある時老父を自分の息子である老父の孫と二人で

モッコに乗せて担いで、しゅうと入りまで来ました。

さてモッコを地上に下して

帰ろうとすると孫が、「お父

さんモッコを持って帰ろうよ。

またお父さんを捨てに来る時

役に立つから。」と言いました。

老父の息子は二十年もたてば

自分もまた捨てられる事になり

ました。その場所が「しゅうと

入り」であったと語りつ

がれています。

読書

エッセイ

本

との出会い

蜘蛛の糸(芥川龍之介)

三和 河野 徳子

「蜘蛛の糸」を子供と一緒に読んでみて、三十六才でこの世を去った作者の作品に感動するものが多くありました。

若い頃に読んだ時には、自分自身がカンタタであったのですが、家庭を持ち母親になった今は、逆の立場の自分がオシャカさまになったつもりで物考える様になりました。自信をなくし迷っている子に対し、どんなにささやかな良い行いでも誉めてあげ、人間らしく生きていく事の大切さを教指導していく責任の重さみたいなものを感じてなりません。

この一冊の本を通して、家族がなごやかに自分の意見を出し合うことができました。

素直な心、感動する心、自然を愛する心を娘と共に大切にしていきたいと思っています。

今月のおすすめ



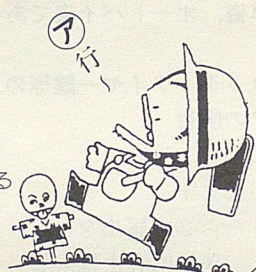
白秋
伊集院 静

恋愛小説である、鎌倉の美しい自然をとおり、その中で生きてゆく優しい時間とともに命の尊さを追及した作品である。二人が結ばれたかどうかは、純愛小説が好きかどうかに一読してみればいかがですか。

公民館図書室

むらの方言ベスト

いづづ



- ① すぐそこだから『あえいでいんか』
訳 歩いて行くか
- ② この本『あげつけえ』
訳 あげましようか
- ③ 私に『あたりがき』しないだよ
訳 八つ当たり
- ④ あの人は『あらへらえ』ばかりしている
訳 人の欠点ばかり言っている
- ⑤ 細い川だから『あんごえべえ』
訳 またいで越えよう

きたうら

根本かほる選

老の掌をくぼめて花の種もらう
みちのくの雪に顔出す道祖神
酔覚めの水をいっきに春の宵
芦の芽や波風たなぬ人の距離
湖に灯の長くあり早春の宿
日脚伸ぶふり返りても一人きり
病室の友の顔にも春の風
子育を終えし農婦や苗の水
路のとうあね妹のかくれんぼ
春暁や鶏の声低くあり
寒釣の終りに指をもみにけり
女房が窓拭いておりヒヤシンス
蜆売りなまりの言葉で量りおり
平成五年三月六日 於 津澄第一公民館

〇前号村芸術祭の巻頭句名前が土子文江氏になっていきますが金井クニエ氏のまちがいでした。訂正させていただきます。根本かほる



おいしい米づくりを目指して

北浦村の基幹産業は農業です。というものの、厳しい状況がありますが、頑張っている農業者を今回から紹介していくことにしました。今回は、米とレンコンの二本柱で頑張っている吉川の沼保夫さんに伺いました。

沼保さんは米づくりに意欲的でライスセンターや、乗用の田植機なども備えてあります。以前は水稲は1ヘクタールぐらいだったのですが、今では2.3ヘクタールに規模を拡大し、その外受委託もこなします。「これからは農家も高齢化してきて、米づくりも大変になってくる。貸付地や、農作業の受委託が多くなっていくのは。農業委員会で行っている農地の流動化事業をもっと積極的に取り組んでほしい」と規模拡大に意欲的でした。また、「これからはおいしい米を作らないと…。村のうまい米生産供給事業でキヌヒカリとコシヒカリを15アールほど作りましたが、村はどんどん米づくりに対する事業を取り組んでほしいです。そして、ブランド化など北浦村のおいしい米をPRしてください。」と言っていました。

県の青年団体連盟の副会長をやっている何かと家をあける日が多かったのですが、その役も終わりこれからは農業に専念したいと言うことでした。



茨城県北浦村／面積54.70km²／人口11,227人(－54) 男5,610人(－26) 女5,617人(－28) 世帯2,648戸(－41)
4月1日現在()は前月比